木質ペレットとは？

木質ペレットは、乾燥した木材を細粉し、圧力をかけて直径6～８mm、長さ５～４０mmの円筒形に圧縮成形した木質燃料で、主にストーブやボイラーの燃料として利用されています。

木質ペレットの特徴

（1）原料は、再生可能な資源

木質ペレットの原料は、森林の育成過程で生じる間伐材などや、製材工場などから発生する樹皮、のこ屑（プレーナー屑）、端材など、再生可能な資源である木材です。これらを取り扱いやすい燃料にしたものが木質ペレットです。

（2）環境にやさしいクリーンなエネルギー

間伐材などを利用することにより、森の再生を手助けすることができます。また、木質ペレットを燃やす時に出る二酸化炭素は、樹木が成長する時に吸収した二酸化炭素だけですから、化石燃料のように大気中の二酸化炭素を増加させることはありません。

（3）着火生に優れ、取り扱いが容易

小さな円筒状に成形加工されているので、運搬や取り扱いが容易ですし、乾いているので着火性にも優れています。

（4）他の木質燃料に比べて発熱量が大きい

含水量が少なく圧縮されていますので、チップやのこ屑をそのまま燃やすより大きな発熱量が得られます。

一般社団法人　日本木質ペレット協会　HPより